

公益社団法人 日本水産学会  
平成 29 年度第 7 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 30 年 2 月 10 日 (土) 13 時 00 分～15 時 00 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス 2 号館 200A 会議室  
(東京都港区港南 4 5 7)
- 3 理事総数及び定足数  
総数 20 名, 定足数 11 名
- 4 出席理事総数 18 名  
(本人出席) 秋山秀樹, 荒井克俊, 荒井修亮, 岡崎恵美子, 管野信弘, 木島明博, 黒倉 寿, 古丸 明,  
重 義行, 青海忠久, 塚本勝巳, 中田英昭, 萩原篤志, 山下伸也, 山本民次, 良永知義,  
和田時夫,  
(途中出席) 佐藤秀一 (第 18 号議案「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件の審議後の 14  
時 07 分に着席)  
(監事出席) 青木一郎, 北田修一  
(幹事出席) 糸井史朗 (編集関係の事項を報告中の 14 時 21 分に着席), 岩田繁英, 小林武志,  
近藤秀裕, 芳賀 穰, 濱崎活幸
- 5 議 案  
決議事項  
第 1 号議案 「会員に関する規則の一部改正の提案」の件  
第 2 号議案 「平成 30・31 年度役員 (理事及び監事) 候補者の決定」の件  
第 3 号議案 「平成 30 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項」の件  
第 4 号議案 「平成 30 年度事業計画」の件  
第 5 号議案 「国際研究・交流資金の積立」の件  
第 6 号議案 「資金調達及び設備投資の見込み」の件  
第 7 号議案 「平成 30 年度予算」の件  
第 8 号議案 「日本水産学会創立 85 周年記念事業の会計処理」の件  
第 9 号議案 「平成 30・31 年度支部長」の件  
第 10 号議案 「平成 29 年度日本水産学会論文賞の決定」の件  
第 11 号議案 「平成 30 年度各種委員会委員長選出」の件  
第 12 号議案 「平成 30 年度各種委員会委員選出」の件  
第 13 号議案 「公益社団法人日本水産学会学会賞選考委員会内規の一部改正」の件  
第 14 号議案 「共催, 協賛, 後援の取り扱いの申し合わせ」の件  
第 15 号議案 「平成 29 年度資格喪失者」の件  
第 16 号議案 「協賛及び後援」の件  
第 17 号議案 「入会承認」の件  
第 18 号議案 「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件  
報告事項 第 6 回理事会以降の職務執行の状況  
その他

## 6 議事の経過及びその結果

### (1) 定足数の確認等

塚本会長が定足数の充足を確認し、続いて本会議の議事進行について説明があった

### (2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、塚本会長が議長となり、本会議の成立を宣言し、議案の審議に移った。

#### (決議事項)

#### 第1号議案 「会員に関する規則の一部改正の提案」の件(別紙1)

良永総務担当理事より、会員に関する規則の一部改正について原案の説明があった。本議案について、以下の質疑応答があった。

萩原理事「適用はいつからか？」

良永理事「附則のとおり再来年度からである。」

塚本会長「発効の具体的な日付けを入れてはどうか？」

良永理事「了承した。」

審議の結果、原案を一部修正のうえ、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。

#### 第2号議案 「平成30・31年度役員(理事及び監事)候補者の決定」の件(別紙2)

良永総務担当理事より、候補者および次点者などについて説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。なお、本議案について以下の質疑応答があった。

中田理事「同票数の方の順位はどのように決められているか？」

良永理事「生年月日順に上位者となるルールで決まっている。」

中田理事「将来的には若い方を優先的に選出するように改定しては？」

良永理事「今後検討する。」

#### 第3号議案 「平成30年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項」の件

良永総務担当理事より、平成30年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

開催日時：平成30年3月28日(水)13時開始

開催場所：東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区港南)

目的である事項： 第1号議案 平成29年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件

第2号議案 会員に関する規則の一部改正の件

第3号議案 平成30・31年度役員(理事及び監事)選任の件

なお、この議案について以下の質疑応答があった。

塚本会長「賞の授与などは会長の担当か？元会長ではないのか？」

良永理事「総会終了までは現会長が会長である。」

塚本会長「了承した。」

#### 第4号議案 「平成30年度事業計画」の件(別紙3)

良永総務担当理事より、平成30年度事業計画について原案の説明があった。審議の結果、原案を一部修正のうえ、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。

#### 第5号議案 「国際研究・交流資金の積立」の件(別紙4)

萩原財務担当理事より、国際研究・交流資金について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。

第6号議案 「資金調達及び設備投資の見込み」の件（別紙5）

良永総務担当理事より、平成30年度の資金調達及び設備投資について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。

第7号議案 「平成30年度予算」の件（別紙6）

萩原財務担当理事より、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。なお、本議案について以下の質疑応答があった。

北田監事「平成29年度決算の議論はしないのか？」

塚本理事「次回の理事会で議論する。」

良永理事「決算予想は、参考として資料に含めている。」

北田監事「収益の減少に加え、FS契約にかかわる収入の減少が赤字の原因になっているのではありませんか？確認である。」

萩原理事「当初予算では、創立85周年記念国際シンポジウムの開催のため、より大きな赤字になる見込みであったが、国際シンポジウムで収益を上げたので、赤字はこの程度になったという理解である。」

北田監事「それについては了承した。しかし、FS収益の減少が主要な収益減少要因の一つとなっている。平成30年度予算について異論はない。」

萩原理事「ロイヤリティー収入に左右されやすい経常収益になっている。Springer社から収益の安定性の高い提案をいただいて、精査しているところである。」

北田監事「経常収益にFSの収入が占める割合が高く、収益が安定するといっても低位安定であり、学会経営への影響が大きいので、引き続き注意して検討すべきである。」

良永理事「了承した。」

第8号議案 「日本水産学会創立85周年記念事業の会計処理」の件

青海日本水産学会創立85周年記念事業担当理事より、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第9号議案 「平成30・31年度支部長」の件

良永総務担当理事より、平成30・31年度支部長候補者について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下のとおり可決した。

|         |       |
|---------|-------|
| 北海道支部   | 安井 肇  |
| 東北支部    | 田中教幸  |
| 関東支部    | 舞田正志  |
| 中部支部    | 横山芳博  |
| 近畿支部    | 家戸敬太郎 |
| 中国・四国支部 | 日向野純也 |
| 九州支部    | 大富 潤  |

第10号議案 「平成29年度日本水産学会論文賞の決定」の件（別紙7）

黒倉編集担当理事より原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。なお、この件について以下の質疑応答があった。

塚本会長「引用回数はどのくらいか？」

黒倉理事「20回弱である。海外で引用されている。自己引用はない。」

塚本会長「了承した。」

第11号議案 「平成30年度各種委員会委員長選出」の件

良永総務担当理事より、平成30年度各種委員会委員長のうち理事会で選出する委員長について説明があった。審議の結果、次のとおり出席理事全員一致で可決した。

シンポジウム企画委員会 古丸 明

国際交流委員会 萩原篤志

水産政策委員会 中田 薫

平成29年度に引き続き平成30年度も委員長をつとめる者

編集委員会 潮 秀樹

企画広報委員会 長島裕二

水産教育推進委員会 神保 充

第12号議案 「平成30年度各種委員会委員選出」の件

良永総務担当理事より、平成30年度各種委員会委員選出について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。なお、この件について以下の質疑応答があった。塚本会長「東日本大震災災害復興支援委員会には会長が含まれているが、会長が委員になる規定か？」

良永理事「そのとおりである。」

塚本会長「了承した。」

塚本会長「日本水産学会創立85周年記念事業委員会は継続するのか？」

青海理事「これまでの経緯などの記録を残す等の業務を実施するため継続する。」

塚本会長「了承した。」

第13号議案 「公益社団法人日本水産学会学会賞選考委員会内規の一部改正」の件（別紙6）

良永総務担当理事から原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で別紙のとおり可決した。

第14号議案 「共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ」の件

良永総務担当理事より、標記の申し合わせについて説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第15号議案 「平成29年度資格喪失者」の件

良永総務担当理事より、平成29年度資格喪失者の案として対象者となる会員氏名リストが示され、2月末までに滞納会費が支払われることでリストから名前が除かれるという説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第16号議案 「協賛及び後援」の件

良永総務担当理事より共催及び協賛について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下のとおり可決した。

第17回世界湖沼会議（いばらき霞ヶ浦2018）

主 催 茨城県、国際湖沼環境委員会

後 援 日本水環境学会 他62団体（予定）

日 程 平成30年10月15日~19日  
場 所 つくば国際会議場(茨城県つくば市)  
希 望 後援  
負担金 なし

第16回国際航法学会世界大会(IAIN2018)

主 催 日本航法学会  
協 賛 宇宙航空研究開発機構 他48団体  
日 程 平成30年11月28日~12月1日  
場 所 幕張メッセ(千葉県千葉市)  
希 望 協賛  
負担金 なし

第17号議案 「入会承認」の件

審議の結果,出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第18号議案 「正会員から学生会員へ会員資格変更の承認」の件

審議の結果,出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

(報告事項)

第6回理事会以降の職務執行の状況

・会長

塚本会長 特になし。

・庶務関係

良永担当理事より,次の報告があった。

1)資格喪失者(会費未納)及び除名者(会費未納)の会費納入による退会への変更について

内山佳丈(正会員,平成28年度資格喪失)

斎藤和敬(正会員,平成12年度除名)

MALA NURILMALA(外国会員,平成28年度資格喪失)

2)FSの出版費用についてTaylor&Francisから見積もりが来ている。Wileyからも2月中に見積もりが来る。Elsevierからは返事が来なかった。なお,この件について以下の質疑応答があった。

北田監事「WileyはSpringerに移行する前の論文(2000-2008年,理事会後注)をOnlineで持っているので,このことも併せて勘案する必要がある。」

良永理事「Wileyの見積書が出てきた時点で判断する。」

北田監事「現時点では,どれが良いか?」

良永理事「現時点ではSpringerの案が良さそうに見える。契約の改定では,かなりの事務作業が必要なので金額の面からだけでなく,案が出てから判断したい。」

北田監事「理事会構成員全員が納得のいく結論を出していただきたい。」

・企画広報関係

佐藤担当理事より,第7回委員会を1月10日に開催し,日本水産学会誌の配本停止について理事会案を説明して承認された旨の報告があった。

- ・財務関係

萩原担当理事 特になし。

- ・編集関係

黒倉担当理事より、次の報告があった。

1) 編集委員会を1月30日に開催し、論文賞の推薦案を決定した。日本水産学会誌の配布停止について議論した。FSのオープンアクセス化についても議論し、自前で出版することも含めて議論した。ツイッターでFSの情報の発信を試行することとなった。

2) 平成30年度日本水産学会編集委員会主催 Fisheries Science 論文投稿セミナー「学会のオフィシャル国際誌としてFSが目指すところ」を3月27日(日本語)と29日(英語)に実施予定である。

- ・学会賞関係

荒井(克)担当理事より、日本水産学会が推薦した平成30年度日本農学賞候補者(萩原篤志「動物プランクトンの生物機能研究と水産増養殖への応用」)が受賞した旨報告があった。

- ・シンポジウム関係

木島担当理事より、次の報告があった。

1) 第3回シンポジウム企画委員会を12月26-27日にメール会議で開催し、1月4日に第4回会議をメール会議で開催した。平成30年度春季大会におけるミニシンポジウムを2件を承認した。ミニシンポジウムタイトルは「タイラギ種苗生産技術の最新動向と養殖産業の創出に向けて」、「三陸サケ回帰技術の向上のための放流技術の開発」である。

2) 次回委員会を3月27日に開催予定である。

- ・出版関係

木島担当理事より、次の報告があった。

1) 第2回委員会を東京海洋大学にて1月9日に開催し、新水産学シリーズについてならびに水産学シリーズ電子書籍化について議論し、次の事項を決定した。新シリーズを電子出版する。新シリーズの出版は、年間5点を超えないものとする。シンポジウムによらない持ち込み企画についても出版を検討する。出版形態などの詳細が決定してから理事会に提案する。この件について岡崎理事より次回の秋の大会のシンポジウムから書籍化を検討するとの補足説明があった。

- ・水産技術誌監修関係

秋山担当理事より、次の報告があった。

1) 第2回水産技術誌監修委員会を1月31日に水産研究・教育機構本部で開催した。編集作業の外部委託の実施が決定した。委託の費用は水産研究・教育機構が支出する。外部委託先には、守秘義務などに注意して選定する。委員が半数ほど交代した。

- ・国際交流関係

和田担当理事 特になし。

- ・水産教育関係

荒井(克)担当理事より、次の報告があった。

1) 委員会委員とJABEEとの連絡強化のために舞田委員を加え、岩手大学の学部設置に伴って同大の後藤委員を加えた。

- 2) 水産系高校長と勉強会を実施する予定である。
- ・水産政策関係
  - 黒倉担当理事より、国際シンポジウム「海洋の保全と利用をめぐる合意形成の科学」の協賛について報告があった。
- ・漁業・資源管理関係
  - 荒井(修)担当理事より、次の報告があった。
    - 1) 平成 31 年度春季大会において、第 70 回講演会「沿岸漁業の季節変動に対応する漁業技術とは？」を 3 月 26 日に開催する。
    - 2) 次回委員会を 3 月 26 日に開催する。
    - 3) 平成 30 年度漁業懇話会奨励賞の受賞式を 3 月 26 日に行う。
- ・水産利用関係
  - 菅野担当理事より、次の報告があった。
    - 1) 第 3 回委員会と第 2 回講演会を 2 月 5 日に開催した。次期委員長と副委員長の決定、来年度講演会のテーマを審議した。
- ・水産増殖関係
  - 木島担当理事より、メール会議による委員会を 12 月 12 日と 18 日に開催し、講演会「内水面漁業の現状と課題：漁場環境の再生に向けて（仮）」を 3 月 30 日に実施することが承認された旨報告があった。
- ・水圏環境関係
  - 塚本会長より、委員会主催シンポジウム「貝類の適正養殖 - 現状と将来への展望」を 3 月 26 日に実施する旨報告があった。
- ・男女共同参画関係
  - 岡崎担当理事より、3 月 29 日に委員会並びにランチョンセミナーを実施する旨と、大型アンケートの解析について委員会で審議予定である旨報告があった。
- ・社会連携関係
  - 塚本会長 特になし。
- ・将来計画関係
  - 青海担当理事より、理事会主催シンポジウム「日本水産学会のこれから - 課題と展望」を 3 月 26 日に実施する旨報告があった。
- ・北海道支部，地域連携関係
  - 塚本会長 特になし。
- ・東北支部，地域連携関係
  - 秋山担当理事より、次の報告があった。
    - 1) 支部例会及び総会を 2 月 16 日に東北大学で実施予定である。
    - 2) 例会では記念講演 3 題を予定している。
    - 3) 次期の支部事務局を岩手大学に引き継ぎ予定である。
- ・関東支部，地域連携関係
  - 菅野担当理事より、平成 30 年度春季大会について報告があった。平成 31 年春季大会の日程は未定であり、委員長は岡崎恵美子先生（海洋大）を予定している。

- ・中部支部，地域連携関係
  - 古丸担当理事より，次の報告があった。
  - 1) 支部大会とシンポジウムを12月2日に開催した。
  - 2) 次の事務局は，福井県立大学に移動する。
- ・近畿支部，地域連携関係
  - 荒井(修)担当理事より，次の報告があった。
  - 1) 近畿支部後期例会を12月10日に開催した。特別講演2題と研究発表11件があり，2件に優秀発表賞を授与した。また，高校生のポスター発表を実施し，ポスター賞1件を授与した。
- ・中国・四国支部，地域連携関係
  - 山本担当理事より，次年度からの事務局を2月26日に水産研究・教育機構瀬戸内海区水産研究所に引継ぎ予定である旨報告があった。
- ・九州支部，地域連携関係
  - 中田担当理事より，次年度からの事務局を鹿児島大学水産学部に引継ぎ予定である旨報告があった。
- ・英文書籍監修委員会（特別委員会）
  - 佐藤担当理事より，英文書籍の萩原篤志会員が編集を担当したものと竹内俊郎会員が編集を担当したものが刊行され，次に青木一郎会員が担当しているものが出版予定である旨報告があった。
- ・東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）
  - 塚本会長より，3月30日にシンポジウム「福島県の沿岸漁業復興にむけて：原発事故7年後の現状と課題」を開催する旨報告があった。
- ・水産学若手の会（特別委員会）
  - 塚本会長より，シンポジウムに向けて準備中である旨報告があった。
- ・日本水産学会創立85周年記念事業委員会（特別委員会）
  - 青海担当理事より，次の報告があった。
  - 1) 12月25日に委員会を開催して活動報告と会計報告を行った。研究の動向，85年史の取りまとめ，各事業の準備からの記録の作成などを実施するので，平成30年度も委員会を継続する見込みである。
- ・財務検討委員会（特別委員会）
  - 萩原担当理事より，次の報告があった。
  - 1) 委員の数を減らし，旅費を削減することが可能な委員会があるか検討している。学生会員の卒業や定年に伴う退会がみられるので，低額で継続できるような仕組みが可能かを申し送り事項に加えており，賛助会員の獲得についても加えるよう検討している。
- ・水産・海洋科学研究連絡協議会関係
  - 塚本会長 特になし。
  - その他確認事項
- ・学会賞受賞者講演の座長と会場系について
  - 塚本会長より，学会賞受賞者講演の座長と会場系について説明があり，座長の担当を決定した。



会場系については、後日決定することとした。

・引継ぎ事項について

塚本会長より、現在までの提出状況について説明があり、未提出の担当理事は次回の理事会までに提出することとした。

・次回の理事会開催について

塚本会長より、次回平成30年度第1回理事会は、3月10日(土)13時から東京海洋大学品川キャンパスで開催する予定である旨確認があった。

・決算報告について

萩原財務担当理事より、各支部から今年度の決算報告を知らせるよう注意喚起があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時00分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長(代表理事)及び監事は記名押印する。

平成30年2月10日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長(代表理事)

監事

監事